

# 第12回 ぎふ・関 全国子ども俳句コンクール開催概要

<p><b>01</b> 応募資格</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国の小・中・高等学校および、特別支援学校に在籍する児童生徒</li> </ul>
<p><b>02</b> 作品内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未発表の作品</li> <li>● 季節は自由</li> <li>● 一人2句以内</li> </ul>
<p><b>03</b> 注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入賞作品の著作権は主催者に帰属するものとします。</li> <li>● 応募者の個人情報は本コンクールに関するものにのみ利用させていただきます。</li> <li>● 応募作品の返却はいたしません。</li> <li>● 応募後の作品の訂正はできません。</li> <li>● 先行句(世の中に発表された句)、類句(誰かの詠んだ句によく似ている句)、二重投句(他のコンクールへ投句した句)については、賞の対象としません。 (故意の有無に関わらず、該当する場合は、成績発表後であっても賞を取り消します このようなことにならないように事前によくご確認ください。)</li> </ul>
<p><b>04</b> 応募方法</p>	<p>① 右記QRコード(関市ホームページ)の応募フォームへ入力 ② 郵便はがきまたは規定の応募用紙を提出 (応募用紙はホームページからダウンロードできます。) 学校で取りまとめて応募する場合は、封筒で郵送してください。</p>  <p>■ 応募締切 令和6年 9月5日(木)(当日消印有効) ■ 応募先 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1(関市文化会館・文化課内) 「ぎふ・関全国子ども俳句コンクール」係</p>
<p><b>05</b> 審査員 (本選)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小澤 實 (俳誌「澤」主宰)</li> <li>● 權 未知子 (「群青」共同代表、俳人協会理事)</li> <li>● 神野 紗希 (現代俳句協会常務理事)</li> <li>● 清水 青風 (「流 ryu」舎主・関市)</li> </ul>
<p><b>06</b> 賞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学生の部、中学生の部、高校生の部とも</li> <li>◎ 惟然大賞 1句 賞状、副賞(図書カード 20,000円)</li> <li>◎ 高橋尚子特別賞 3句 賞状、副賞(図書カード 10,000円)</li> <li>◎ 優秀賞 10句 賞状、副賞(図書カード 3,000円)</li> <li>◎ 奨励賞 50句 賞状</li> <li>◎ 入選 200句</li> <li>◎ 学校奨励賞 若干</li> </ul> <p>(入賞者には、学校を通して通知いたします。)</p>
<p><b>07</b> 表彰式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和6年 12月8日(日) 関市文化会館</li> </ul>



関の包丁



うなぎ



モネの池



古式日本刀鍛錬



小瀬船問



高賀の滝



弁慶庵

## 俳句の革命児! ? 広瀬惟然ってどんな人?

江戸時代の俳人、松尾芭蕉の弟子の一人。  
美濃国関村(岐阜県関市)の酒造業の家に生まれた。十代半ば頃に名古屋の商家の養子となり家を継いだ。庭先の梅の花びらが散るのを見て世の無常を知り、四十を目前にして郷里の関に戻り出家して弁慶庵で、俳句の道に精進した。  
1688年に、岐阜に来ていた芭蕉に入門し、芭蕉と各所を旅した。芭蕉没後は、芭蕉の句を連ねた念仏(風羅念仏)を、各地を行脚し詠み歩き、芭蕉の菩提を弔った。大胆に俗語を取り入れた独自の口語調の作風を得意とした。

惟然代表句「水鳥やむかふの岸へつういつうい」  
※向こう岸へ水面を滑るように離れていく水鳥を「つういつうい」という語で表現している。



ひろせ いねん 広瀬 惟然

※応募用紙はコピーして使用できます

**応募用紙**

※ 作った俳句を送る前に、もう一度つぎのことを確かめて応募しよう。  
 自分で作った俳句ですか?  
 他のコンクールには出していないですか?  
 文字の書きまちがいはありませんか?

氏名	性別	学校所在地	学校名	第2句	第1句
		〒			
		都 道 府 県			
			小・中・高 学校		
			学 年		
			年		
作品募集担当教諭または担当教員氏名					
電話番号	( 自宅 ・ 学校 )			整理番号	整理番号
	( )				

※応募用紙はコピーして使用できます

**応募用紙**

※ 作った俳句を送る前に、もう一度つぎのことを確かめて応募しよう。  
 自分で作った俳句ですか?  
 他のコンクールには出していないですか?  
 文字の書きまちがいはありませんか?

氏名	性別	学校所在地	学校名	第2句	第1句
		〒			
		都 道 府 県			
			小・中・高 学校		
			学 年		
			年		
作品募集担当教諭または担当教員氏名					
電話番号	( 自宅 ・ 学校 )			整理番号	整理番号
	( )				